

ひろば 大代

No.499

令和3年2月号

大田市の人口
(R3.2.1現在)
大田市 33,780人
内大代町 328人
男 148人
女 180人

大家の町中案内板と楽屋幕

千葉県(弓久出身)

大場隆男



大家の町中の中央付近に、いつ頃制作されたものか分からないが、金属板に商店、学校、お寺、神社等が書かれた「大家案内図」が掲げられている。かなりの年月風雪に耐えたものであることが、所々消えかかった文字でうかがえる。

帰省したある年に、町中をあちこち写真撮影。貴重な一枚として思い出ファイルに保存。写真を拡大しても判読しにくい部分もあったが、何と



か表示内容を手書きでまとめることが出来た。ある年代の方なら繁栄した当時に振り返り、懐かしく思い出しただけのことと思います。

各建物の並び、位置、大きさ、距離、道路等は実際と縮尺比は異なるものの、案内板として、大家の町の記憶、思い出を蘇えさせてくれるには十分だ。

中学校は、昭和51年10月9日早朝に焼失、小学校は、平成24年3月末閉校となり、現在はその跡地が公共施設として利用されているが、帰省時その地立に立てば小中9年間の様々なことの思い出がタイムスリップし味わえる。

商店名を入れた「大江高山神社中」の楽屋幕は、昭和20年代に大家商工会より寄贈されたものと聞いていたが、70年近く経ったものとは思えない鮮やかな色彩の歴史ある貴重品だ。8年前の東京石見高山会総会時に会場に飾られ出席者の目を引いた。



オーラルフレイル対策

四日市 谷口浩

ウィズコロナ時代におけるオーラルフレイル(口腔機能の低下)対策の重要性について、日本歯科医師会常務理事小山氏の講演内容を紹介します。

オーラルフレイルは、口の筋肉が弱くなり、むせたり活舌が悪くなったりというところから始まります。歯周病で歯がなくなると食べ物をかめなくなり、かめないと軟らかいものを食べてしまいます。軟らかいものを食べると、かむ機能が低下するという悪いスパイラルに陥り、口腔機能が低下します。ただし、オーラルフレイルは口のみわりの筋肉を鍛えると元に戻せます。「むせる」「食べこぼす」「顎の力が弱くなった」などと思う方は、一度歯医者さんに相談してみてください。口を動かしたり、よくかんで食べたり、低栄養にならないように肉やヨーグルトなどのたんぱく質を摂取したりして、日常の食事にも気をつけましょう。

成人の3人に2人は歯周病と言われています。歯周病は認知症や心臓病、

誤えん性肺炎など、全身の病気と深く関連します。歯を失い、義歯を使わずに歯茎で食べていると、認知症の発症リスクは1.9倍、転倒リスクは2.5倍にまで上がります。口の健康は全身の健康につながります。



「おはぴこ」ってなんですか？

なんですか？

まちづくり定住課 上田洋之

タイトルに書いてあるご質問を沢山の方々からいただきました。何の事か分からないですよねえ。

あつ失礼いたしました。自己紹介がまだでしたね。私は大田市役所、政策企画部、まちづくり定住課、結婚支援相談員 上田洋之と申します。今回、広報「ひろば大代」の貴重な紙面を担当させていただき光栄であります。少しご挨拶が堅苦しくなりました。ここ

からは少しリラックスして私達の取り組みんでいる事業の事や私が地域を回らせていただき感じた事を書き綴ってみたいと思います。

皆さんもご存知だと思いますが現在日本の人口は減少傾向にあります。総務省が公表した2020年1月1日時点の住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、全国の人口は1億2713万8033人。1968年（昭和43年）の現行調査開始以来、2009年から11年連続の減少となっておりと各メディアなどで報道されています。

全国的な傾向ですが、この内容は当然、私達の暮らす島根県、大田市においても切実な問題となっています。人口減少問題は大きな課題である事は間違いない、県や市でも人口減少に歯止めをかけるべく様々な対策を講じています。その中の一つとして島根県は平成27年に結婚支援を行う拠点として「しまね縁結びサポートセンター」を設置し、平成28年には県内の民間企業、

各種団体、県で構成する「一般社団法人しまね縁結びサポートセンター」を設立しました。結婚を望む独身男女の出会いと縁結びのお手伝いをし、たくさんの方々が結婚され、この島根の地で暮らすことで人口増加に繋げていく事業です。

大田市でも2019年10月より「一

般社団法人しまね縁結びサポートセンター」「大田はぴこの会」の協力を得て「おおだ縁結びサポート事業」をスタートさせました。大田市役所内に結婚支援相談員を配置し地域の結婚を望まれる方々への情報の提供、「大田はぴこの会」への紹介、しまねコンピューターマッチングシステム「しまこ」の紹介や閲覧対応などを行っています。では、タイトルにあるように「はぴこ」「しまこ」ってなに？となると思



般社団法人しまね縁結びサポートセンター」が提供する2種類の出会いをサポートするシステムです。「はぴこ」は縁結びボランティアが相談者の担当となり条件などをお聞きしながらお手探しのお手伝いをして下さいます。

「しまコ」はしまねコンピューターマツチングの略称です。「しまコ」は登録手続きをさせていただく事で他の登録者の情報を専用タブレットで見ることが出来るようになり、それを利用して自分でお相手を見つけるものです。



おおだ縁結びサポート事業では「はぴこ」「しまコ」二つのシステムにより大田市内の結婚を望んでおられる独身男女の皆様に、安心かつ快適にご利用していただけるように努めています。また、ご本人様に限らず、ご家族の皆様からのご相談なども（「はぴこ」、「しまコ」への登録の仕方や内容説明

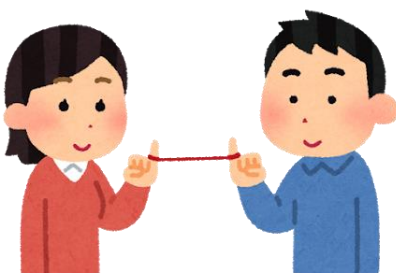
など）対応出来るようにしています。おおだ縁結びサポート事業が「はぴこ」「しまコ」が地域の活性化、定住促進のお役に立てればと思っています。

私自身、大田市内27ヶ所あるまちづくりセンターを回らせていただきません。どの地域も人が少ない、若い人がいない、子供が少ない。そんな言葉をよく耳にしました。まちづくりセンターの建物が元々学校だった場所もあります。そこには間違いなく子供達が学び遊んでいた風景があったのだなあと寂しく思う時もあります。この先、一気に人口増加が加速する様な事はないと思います。それでも一家族、二家族と小さな動きであったとしても増えていく事で町が元気になるのではないかと考え



ます。

時代も変わり結婚についての考え方は多様化しています。どれが正しいとか間違いとかはありませんが、家族、職場、仲間同士で結婚の話題はあえて避けなければならない？そんな風潮もある様です。もちろんプライベートの問題です。ライフスタイルは人それぞれ。結婚と言うもの自体、必要性があるのか？随分難しい問題になっています。そして田舎になればなるほど家と職場のみの往復となりがちで独身男女の出会いの場は殆ど無いのが現状です。無理やりお付き合いしろ、結婚しろ！何て現実的ではありません。しかし、このままの状況では確実に地域の人口は減り続け、高齢化も進み、町を維持していく事がとても難しくなることが予想されます。その現状を少しでも改善していく為に



は、UIターンの促進、空き家対策の充実などにあわせ、地域で新しい家庭が増える、婚活応援も取り組まなければならない事の一つと考えています。



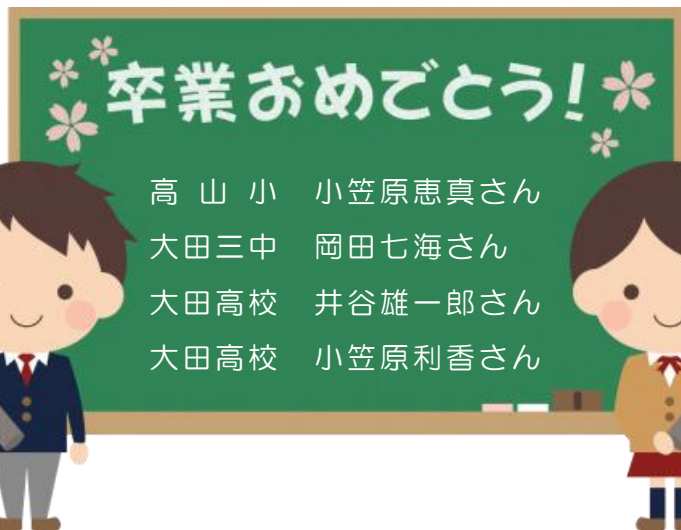
もしよろしければ気軽に婚活について、おおだ縁結びサポート事業に相談していただけたらと思っております。そして「はぴこ」「しまこ」を活用していただき沢山の方々に出会い、ご縁がありますように私も全力でサポートさせていただきます。

大代の町からたくさん恋の話が、結婚の話が聞ける事を楽しみにしています。



3年間の成長

柿田（大田三中） 岡田七海



中学校入学の日、私は不安でいっぱいでした。そんな、不安から始まった中学校生活も気付けば終わりが近づき卒業も間近です。この3年間は私をとっても成長させてくれました。

私を一番成長させてくれたのは、部活と、3年生になってからの行事活動だと思えます。部活では、精神的にも技術的にも成長できました。楽しいこともあったけど、練習はととても大変で「やりたくないな」と思ったこともありましたが、でもそこでふんばれたから今の私がいるのだと思います。行事活動では、3年生という立場だからその責任が私を成長させてくれたと思います。文化祭では、一人一人に役割があり、その中でみんなと協力して一つのことを作り上げることでできた時は、とてもうれしかったです。



今年は新型コロナウイルス感染症の影響でたくさんの方が制限される中、「何ができるか」みんなで大変でした。でも、楽しかったです。大会がなくなったりして、全く後悔がな



いとは言い切れませんが、一日一日が私にとって大切な思い出になったと思います。

来年度からは、新しい生活が始まります。一つも不安はない、と言ったら嘘になります。でも、新しい一歩が私にとって良い一歩になるとうれいす。これからも、自分の夢に向かって進んで行きたいです。



高校生活の思い出と今後の抱負

平（大田高校） 井谷雄一郎

私の高校生活での思い出は部活動です。小学校の4年生から野球を始め、中学、高校とだんだん練習も大変になりましたが最後までしっかりとやり切ることができました。高校最後の1年は新型コロナウイルス感染症の影響で思うように練習や試合はできませんでしたが、夏は代替大会という形で試

合ができて良かったです。

高校卒業後は大学に進学します。一人暮らしや環境が変わることに少し不安はありますが、楽しみもあるのです。しっかり頑張りたいと思います。また、周りの人への感謝も忘れずしていきたいと思います。



経験をいかして

植松（大田高校） 小笠原利香

私は高校に入ってからたくさんの新しいことにふれてきました。はじめは学校になれず戸惑っていましたが、少しずつ慣れていくなかで、今まで自分が興味なかったことが気になりだしたり、色々な友達がいることで新しい発見をたくさんしたりと、どんどん自分の中で変わっていくものがありました。

また部活動では写真部に入りました。2年生になると雑誌や大会などで賞に

入ることが多くなりとてもうれしかったです。また自分の实力を知ることができ、やりがいが増していきました。高校3年間は自分にとってとても良い経験であり、楽しかったです。

春から大学に進学します。新しい環境になるので不安が大きいのですが楽しみたいと思います。



俳句

あすなる句会

椿 花田時子

同病の友逝きませり寒日和
蠟梅ろうばいの咲いて明るうなりし庭

下市 今田文字

コロナ禍に痛む心や春浅し
朝夕のことに余寒の厳しかり

川上 岩田律枝

紅梅に癒さる日々や里住ひ
草花の芽吹きあしたに和む朝かな

上市 横田美恵子

くりやまど
厨窓花瓶の梅のふふみかな

手をつなぎ仲良しこよし春の経 みち

椿 柿丸寿枝

床の間に大書の一文字日脚伸ぶ たいしよの

ほどほどになすこと覚へ老の春 おい

|| 訂正 ||

先月1月号の俳句に誤字がありました。

岩田律枝さんの句

誤..平穩を願ひ七草粥を炊く

正..平穩を願ひ七種粥 ななくさを炊く

大変失礼いたしました。



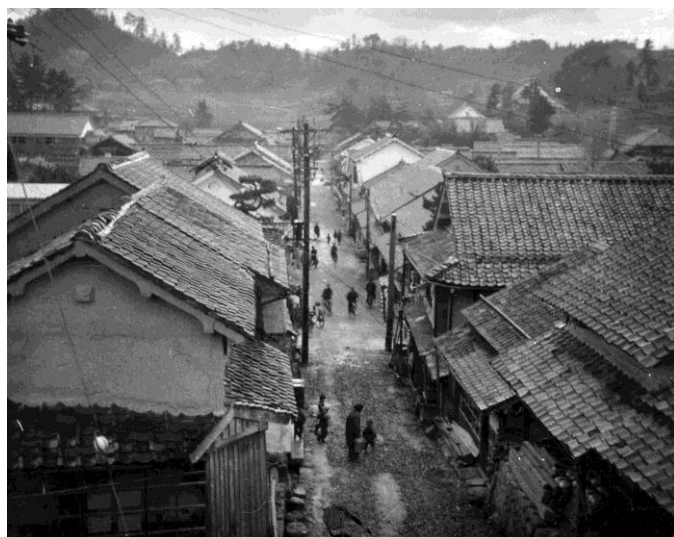
|| お礼 ||

千葉県 鳥笥尾正様から

ひろば大代500号祝いの御厚志をいただきました。厚く御礼申しあげます。



懐かしの大代



1960年代 大家の街並み

邇摩高校大代分校



大代保育園 昭和33年 正法寺

3月行事予定

- ▼ 6日(土) ひな祭り会
- ▼ 10日(水) 大田三中卒業式
- ▼ 14日(日) 福祉弁当
- ▼ 19日(金) 高山小卒業式
- ▼ 23日(火) 連合自治会

- ▼ 4日・11日・18日・25日(木)

えびすの会 13時半〜15時半

※行事は延期・中止になる場合があります。

